

## 持続可能性のある田布施町農業の確立を（令和 8 年 6 月現在）



写真 1：田布施町農業支援センター設立総会



写真 2：国営事業で整備されたほ場

田布施町では、平成 23 年から国によるほ場整備事業が行われ、農地の大区画化や排水改良が行われ、これを契機に集落営農法人の設立や担い手への農地集積を進め、地域農業の振興を図ってまいりました。

しかしながら、町内は中山間地域が多く、高齢化や人手不足に伴い農業に関わる人材の確保や農村地域の維持活動の継続が大きな課題となっており、持続可能な農業の確立に向けた更なる農業振興への取組が求められております。

このような背景を踏まえ、関係機関が協力して地域農業を支援する仕組みを構築するため、令和 8 年 4 月 27 日に「田布施町農業支援センター」を設立しました。同センターでは、町長をセンター長、副町長をマネージャーとし、山口県、JA、土地改良区といった関係機関が一丸となって地域農業のさらなる振興に取り組みます。

同センターでは、国営ほ場整備で生まれた優れた農地を活かし、農業法人への経営支援、新規就農者の確保、スマート農業の導入や企業参入の促進等を通じて稼げる農業を確立するとともに、教育や観光などのさまざまな分野と連携し、地域内外から多くの方々が農業に関わる仕組みをつくることで、持続可能で魅力的な田布施モデルの農業の確立を目指します。

本取組はまだスタートしたばかりではありますが、既に農業法人への営農指導やスマート農機の試験導入が開始され、農業分野における地域おこし協力隊の採用、大学や農工高校との連携プロジェクトの検討など、新たなチャレンジも始まっています。

今後は、地域の農業者や住民の皆さまにもご意見やアイデアをいただきながら、様々な取組を展開していきます。

田布施町の農業を持続可能で、地域に根付いた魅力ある形に発展させるため、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。